

須坂市 シニア連だより

第80号

2024年3月1日発行

発行所

須坂市大字日滝407

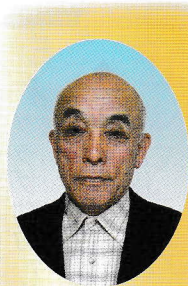
須坂市シニアクラブ連合会

TEL 026-246-1746

発行人 堀内住夫

編集 広報委員会

印刷 ヒタキ印刷株式会社



ごあいさつ

須坂市シニアクラブ連合会

会長 堀内住夫

今年度会長に選任されました堀内住夫です。会員の皆様のご指導ご協力を賜りながら一生懸命務めさせていただきますので宜しくお願いいたします。

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症ですがその感染症法上の位置づけが五類に移行されたことを機に、一時的に中断されていた活動も今年度は規模・方法を考慮しながらですが少しずつ再開を進めてまいりました。市シニア連大会、マレットゴルフ大会、ゲートボール大会には大勢の会員様のご参加をいただき盛大に開催できました。また第63回長野県シニアクラブ大会が7年ぶりに須坂市で開催されました。いずれも関係皆様のご協力をいただき無事に開催できましたことに感謝申し上げます。

さて、近年、高齢者の人口が増加したにもかかわらず、老人クラブへの加入が進まず会員減少が続いており、若手高齢者の加入をいかに促進していくかが老人会の喫緊の課題となっております。

社会の多様化に伴って私たちの営みも私たちの親世代とは大きく変わってきています。社会や家庭の線を描いたあとは一本のレールの上

を走るように老人会に入会することが当たり前だった時代を経て、今は個人個人が旅行を楽しみ、気の合った仲間とサークル活動を楽しむといった時代になりました。その人たちにシニアクラブの衰退を食い止めるためというクラブ側の都合で入会をお願いしても「入会しなくても何かとやることあるから」となかなか入会に理解を得ることはできません。会員増加のためにはシニアクラブの在り方も現代社会に即した形に変わっていかなくてはならないと

思います。それには何をどうすればいいのかとなるとなかなか難しいことではありますが、シニアクラブ組織として、個人でやろうと思ってもむずかしい、社会を明るくする花壇づくり、就学児童の見守りや私たち高齢者自身のところとからだの健康づくりや介護予防活動などを通して今まで育てていただいた社会に貢献できるやりがいや楽しみを伝える事だと思えます。入会したいけど一歩が踏み出せない人がいたらちよつと背中を押してあげてください。「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のスローガンのもと、明るい活発な須坂市シニアクラブ連合会の活動の推進に努めてまいりたいと思っておりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

令和5年度 須坂市シニアクラブ連合会役員

会長	堀内住夫	常盤町松の実会	大羽久敏	福寿会福島老人会	平野益雄
副会長	中澤秀樹	小山町友和会	永井光明	中島町老人クラブ老盛会	富澤良男
副会長	赤城義吉	屋部町長生会	赤城義吉	米持町お楽しみ会	上野経英
副会長	永井富壽子	相森老盛会	越満	上八町老人クラブ明徳長寿会	町田繁男
副会長	永井富壽子	沼目町シニアクラブ	富澤直人	下八町シニアクラブ	村石博恵
女性部長	清水やよい	塩川町長生会	竹田慶市	野辺町長寿会	中澤秀樹
女性部長	黒岩秀子	田の神町老人クラブほたる会	横澤秀水	村石町長寿会	丸山一雄
顧問	川上勝男	井上老人クラブ桐寿会	宮沢健一		
相談役	中村壽勝				

第64回須坂市シニアクラブ連合会定期大会

第64回須坂市シニアクラブ連合会定期大会が、令和5年6月8日、生涯学習センターにおいて、須坂市長三木正夫様はじめ大勢の来賓の方々をお招きし、各単一クラブ会員の方々の参加により盛大に開催されました。

新型コロナウイルス感染症により開催を見合わせていた大会も「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」の合言葉のもとに、高齢者の生きがい・健康づくりと活力ある地域づくりを推進するために、

- 一、ブロック及び単一クラブ間の連携
- 二、若手会員の加入促進



- 三、女性会員の活動への参画
- 四、地域活動への参加
- 五、広報(P.R.)活動の強化

を重点項目を事業計画に盛り込みました。また、小山町友和会、前会長であり現在相談役の中村壽勝さんに表彰状、感謝状を授与しました。

後半では、長野市周辺で活動をされております新日本婦人の会長野支部 ほんぼこ小組さんの「南京玉すだれ踊り」の公演をお願いし、大会の場を盛り上げていただきました。

令和5年度表彰受賞者ご芳名

- ◆表彰状の部
クラブ功労 小山町友和会
- ◆感謝状の部
前会長 中村 壽勝

- ◆ご出席いただいたご来賓
- 須坂市長 三木 正夫 様
- 長野県議会議員 堀内 孝人 様
- 長野県議会議員 小林 君男 様
- 須坂市議会議員 浅井 洋子 様
- 一般財団法人 長野県シニアクラブ連合会長 藤岡 嘉 様

- 須坂市社会福祉協議会長 永井 康彦 様
- 須坂市シニアクラブ連合会顧問 川上 勝男 様
- 須坂市シニアクラブ連合会相談役 中村 壽勝 様

第63回長野県シニアクラブ大会

第63回長野県シニアクラブ大会が、令和5年10月31日、須坂市文化会館(メセナホール)において、長野県知事様(代理 長野県健康福祉部長様)はじめご来賓各位を迎え、県下各市町村クラブから約500名の会員を須坂市へお迎えして盛大に開催



されました。県知事表彰に4名、長野県シニアクラブ連合会長表彰に個人19名、クラブ1団体、全国老人クラブ連合会長表彰に個人3名、クラブ4クラブ等が表彰されました。



後半の講演では、一般社団法人日本eスポーツ連合(JeS.U)の前会長、特別顧問でもあり株式会社セガ顧問でもあります岡村秀樹氏をお迎えし、「eスポーツはエイジス」という題目でご講演をいただきました。須坂市では第56回の令和27年大会以来の大会となりましたが、須坂市からも多くの会員の参加をいただきました。

第14回 会長杯マレットゴルフ大会

コロナウィルス感染拡大の影響があつて4年ぶりの開催でした。7月6日、百々川緑地公園つじコース、りんどうコースにて50名(女性14名、男性36名)の参加のもと、盛大に開催されました。

開会式では牧厚子須坂市健康福祉部長はじめ御来賓の方々からご挨拶をいただきました。

始球式に続き、選手の皆さんが各スタートホールに移動して花火を合図に競技に入りました。一緒にプレーをするメンバーは町が異なる女性男性で組合せがされていました

が、プレーが進む中でコミュニケーションも図られて和やかな雰囲気です。楽しい一日を過ごすことができました。

●成績は次の通りです。
須坂市マレットゴルフ協会の皆様にも多大なるご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

- 成績は次の通りです。
- 優勝 堀内 住夫(中島町)
- 準優勝 涌井 幸子(屋部町)
- 第三位 丸山 一雄(村石町)
- ホールインワン なし



- 特別賞 最高齢者
- 男性 佐藤 倉三(小山町)
- 女性 清野 久江(小山町)

第33回 会長杯ゲートボール大会



11月9日、屋内ゲートボール場ふれあいにて開催されました。従来は連合会各ブロックにおいて予選会が行われて、その代表クラブによる大会でしたが、今年度は単位クラブ数の減少等を検討した結果、連合会のすべてのクラブを対象に参加を募りました。その結果、9チーム総勢61名の参加申し込みがありました。

●成績は次の通りです。
決着がつかず、得失点差で順位が決まるという熱い戦いが繰り広げられました。

- 成績は次の通りです。
- 優勝 田の神町
- 準優勝 田の神町老人クラブほたる会
- 第三位 上八町
- 上八町老人クラブ明德長寿会

人権学習会

本年度の人権学習会が1月11日、老人福祉センター永楽荘二階大広間にて開催され、役員・理事の方々が受講いたしました。

講師には、須坂市人権交流センターの丸山和男指導員をお迎えして開催されました。演題は「今そこにいる人としつかり出会う」で、上演時間24分間のDVD鑑賞をしました。学習内容は、介護付き老人ホームで先輩の介護福祉士が新人に事細かく仕事を教えていて、入居者からごこの出身かと聞かれる所から同和問題について理解を深めていき、どう差別と向き合っていくかについてヒントになる作品になっています。



元気な仲間 (80)

なくてはならない

友和会

小山町友和会

永井 光明

咲かせ、コンクールでは入賞の常連となつています。

会員の健康維持には友和会として毎年健康講座を親睦会に含め、冬場の運動不足に対しては毎月スマートボーリングや囲碁ボールなどのニュースポーツを公会堂で実施しています。区のマレットゴルフ同好会には多くの会員が参加しており、週1回の練習日はもちろん、毎日のようにグリーンに通っています。

ここ数年、コロナのためもあつて人と人とのきずな、地域での交流が少なくなりました。

小山町友和会です。老人会として結成して40数年。最近はどこでも同じように友和会も加盟人数は減っています。活動はコロナ禍でも活発で、22年度にはシニア連から表彰されました。会員は正会員が38名、名誉会員が19名、総計57名。5班編成で活動していますが、新しく加入する人が少ないのが最大の悩みです。

会員の何よりの楽しみは、くつろぎ荘や永楽荘での新年会や忘年会を含めて月1回の親睦会で、落語やマジックの名士を招いたりして、バラエティーに富んだものにする工夫をしています。勿論アルコール付きの食事会で、会話に花を咲かせカラオケや囲碁ボールに歓声を上げています。

定着した年間活動は、臥竜公園西口の秋葉社の花壇づくりや道路清掃、公会堂周囲の整備などの(社会奉仕)活動です。花壇では、特に花好きの会員が毎日のように世話をしており、毎年カンナを中心に素晴らしい花を

この数年、コロナのためもあつて人と人とのきずな、地域での交流が少なくなりました。会員の固定化高齢化が進み、高齢者が孤立してしまつてはいけないと考え、3年前から会員同士のコミュニケーションを深め、区民とのきずなを維持したいと、友和会の会報「お元気ですか?」小山町友和会です」を年2回発行することにしました。戦後、小山町も居住者が急増。ここ数年もめまぐるしく変わってきています。公園がつくられ富士通がきてから、地域がどう変わってきたのか、実際に見聞きした人がいるうちに区民にも伝えたい。こんな人がこんな経過でこの街に來ました、と小山町の歴史を知ってほしいとの思いからです。会員の中から、写



真の好きな人、パソコンのいじれる人、調べたり文章を書くことが出来る人などが集まり、試行錯誤してカラーのA4・4ページのものを6号まで発行しました。友和会会員はもとより、区の全400戸に配布しました。「これは素晴らしい。私も友和会にはいります」という人も現れました。会員からは喜ばれています。しかし残念ながら区民からの反応は伝わって来ません。が、粘り強く可能な限り作り続けようと考えています。

いまどうしたら会員が増えるのか、役員を押し付けられるから入らないとの声にどう応えるのか。課題は山積しています。高齢者が孤立せず、楽しく、元氣よく生きていける地域をめざして、今後も頑張っていきたいと思っています。



本年度は、春先からの異常気象により、りんごなど果物の開花が進んだところへの霜により開花異常や変形果が多く発生し、収量減や品質低下が多く見られました。皆様のところはどうか。

1月1日に能登半島地震が発生。震度7という近年にない大きな被害が発生し、毎日避難所の状況や水道・道路等のインフラ復旧の状況が報道されています。当市でそのような大規模災害が発生したら、地域での協力・共創ができるだろうか?と、日頃の地域コミュニケーションを考えさせられました。

今回の広報は、コロナの影響により、実施してきた事業を中心に4年ぶりの発行となりました。

広報委員会 一同

